

Challenge

チャレンジ

企業が抱える課題の中で「教育」のウエイトは非常に高い。一方、教育できる人材が不足する他、限られた時間の中で効果的な新人教育を求められることも少なくない。現場でなければ教えられない事も多く、企業は試行錯誤を重ねている。



キャリアアデザイン事業
部キャリア開発部の吉
田 創 課 長

施工管理の新人

「バーチャル現場」で教育

= ワールドコーポレーション =

建設業界の技術者派遣を行うワールドコーポレーション(千代田区)は、BIMを用いたバーチャル現場体験型施工管理教育システム「現場トレーナー」を導入し、新人教育に注力。さらに技術社員の安全に対する意識も向上しているという。

同社のキャリアアデザイン事業部キャリア開発部の吉田創課長は、「当社は未経験者を中心に採用しているため、業界について分からない人が多く、彼らは現場でのギャップに戸惑うことが多かった。現場トレーナーの導入により、早い段階で現場のイメージがつかめるため、不安を取り除ける」と話す。



研修の様子

特に配属前に行う新人教育で現場トレーナーは非常に有効だという。研修後のアンケートでは、8割以上の受講者が「現場のイメージがつきやすい」と回答し、好感触を得ている。受講者は、RPGゲームのような映像の「バーチャル現場」で、現場監督の

アバターを操作しながら、意図的に作り込まれた問題点や注意点を発見・解決していく。

体験者は、「現場経験がないため、実際の現場に出ることに不安を感じていた。BIMモデルで再現したバーチャル工事現場では、臨場感のある学習で不安を解消でき、施工管理技術者の仕事が理解しやすくなった」と話す。

クイズ・ドリル問題に解答する体験型学習は、ゲー

ム感覚で異常に「気付き力」を短期間で鍛えられる。問題に正解すると獲得ポイントが増え、現場の知識・経験が身に付く目安になっている。吉田課長は、「今後も最新技術を取り入れて活用すること、効果的・効果的な社員教育を実施していきたい」と語った。



現場トレーナーの画面